

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

「注意事項等情報」改訂のお知らせ

製造販売元 富士製薬工業株式会社

アミノグリコシド系抗生物質製剤

日本薬局方 アミカシン硫酸塩注射液

処方箋医薬品<sup>注)</sup>

アミカシン硫酸塩注射液100mg[F]

アミカシン硫酸塩注射液200mg[F]

AMIKACIN SULFATE injection

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社医薬品につきまして、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、この度、上記製品の「注意事項等情報」事項を自主改訂致しましたのでご案内申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、本紙の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

謹白

[1] 改訂内容

(該当箇所のみ抜粋)

| 改訂後 (下線部改訂箇所)   | 改訂前 (部削除箇所)   |  |         |                                     |  |  |  |   |                                      |   |      |           |         |                            |  |  |   |   |                                      |
|---|---|--|---------|-------------------------------------|--|--|--|---|--------------------------------------|---|------|-----------|---------|----------------------------|--|--|---|---|--------------------------------------|
| <p>10. 相互作用<br/>10.2 併用注意(併用に注意すること)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>ループ利尿剤<br/>フロセミド<br/>アゾセミド<br/>トラセミド 等</td><td>腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。</td><td>機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるとい報告がある。</td></tr><tr><td>麻酔剤<br/>筋弛緩剤<br/>ロクロニウム臭化物<br/>A型ボツリヌス毒素製剤等<br/>コリスチンメタンシルホン酸ナトリウム</td><td>呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。</td><td>両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。</td></tr></tbody></table> | 薬剤名等  | 臨床症状・措置方法  | 機序・危険因子 | ループ利尿剤<br>フロセミド<br>アゾセミド<br>トラセミド 等 | 腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。 | 機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるとい報告がある。 | 麻酔剤<br>筋弛緩剤<br>ロクロニウム臭化物<br>A型ボツリヌス毒素製剤等<br>コリスチンメタンシルホン酸ナトリウム | 呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | 両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。 | <p>10. 相互作用<br/>10.2 併用注意(併用に注意すること)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>ループ利尿剤<br/>フロセミド<br/>アゾセミド 等</td><td>腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。</td><td>機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるとい報告がある。</td></tr><tr><td>麻酔剤<br/>筋弛緩剤<br/>ベクロニウム臭化物<br/>A型ボツリヌス毒素製剤 等</td><td>呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。</td><td>両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。</td></tr></tbody></table> | 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 | ループ利尿剤<br>フロセミド<br>アゾセミド 等 | 腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。 | 機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるとい報告がある。 | 麻酔剤<br>筋弛緩剤<br>ベクロニウム臭化物<br>A型ボツリヌス毒素製剤 等 | 呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | 両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。 |
| 薬剤名等  | 臨床症状・措置方法   | 機序・危険因子  |         |                                     |  |  |  |   |                                      |   |      |           |         |                            |  |  |   |   |                                      |
| ループ利尿剤<br>フロセミド<br>アゾセミド<br>トラセミド 等   | 腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。                                  | 機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるとい報告がある。 |         |                                     |  |  |  |   |                                      |   |      |           |         |                            |  |  |   |   |                                      |
| 麻酔剤<br>筋弛緩剤<br>ロクロニウム臭化物<br>A型ボツリヌス毒素製剤等<br>コリスチンメタンシルホン酸ナトリウム  | 呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | 両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。                   |         |                                     |  |  |  |   |                                      |   |      |           |         |                            |  |  |   |   |                                      |
| 薬剤名等  | 臨床症状・措置方法   | 機序・危険因子  |         |                                     |  |  |  |   |                                      |   |      |           |         |                            |  |  |   |   |                                      |
| ループ利尿剤<br>フロセミド<br>アゾセミド 等  | 腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。                                  | 機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるとい報告がある。 |         |                                     |  |  |  |   |                                      |   |      |           |         |                            |  |  |   |   |                                      |
| 麻酔剤<br>筋弛緩剤<br>ベクロニウム臭化物<br>A型ボツリヌス毒素製剤 等   | 呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | 両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。                   |         |                                     |  |  |  |   |                                      |   |      |           |         |                            |  |  |   |   |                                      |

[2] 添付文書改訂年月

2024年12月改訂

[3] DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報 (DSU) 掲載

No. 332 (2025年1月発行予定)

最新の電子化された添付文書は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)及び弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.fuji-pharma.jp/confirm/index>)でご覧いただくことができます。また、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を利用し、GS1バーコードを読み取ることでご覧いただくこともできます。

アミカシン硫酸塩注射液「F」



(01)14987431210112

【本文書に関するお問い合わせ先】

富士製薬工業株式会社 安全管理グループ  
〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂 1515 番地  
TEL:076-479-9175 FAX:076-479-1989

【製品情報に関するお問い合わせ先】

富士製薬工業株式会社 くすり相談室  
TEL:0120-956-792 FAX:076-478-0336  
電話受付時間 9:00~17:00 (土日祝日、弊社休日除く)